

令和6年度水道ビジョンの進捗報告

令和7年(2025年)8月8日
東大阪市上下水道局
水道総務部水道経営室



MONOZKURI CITY

HIGASHI-OSAKA

WHERE THE ANSWER IS





目次

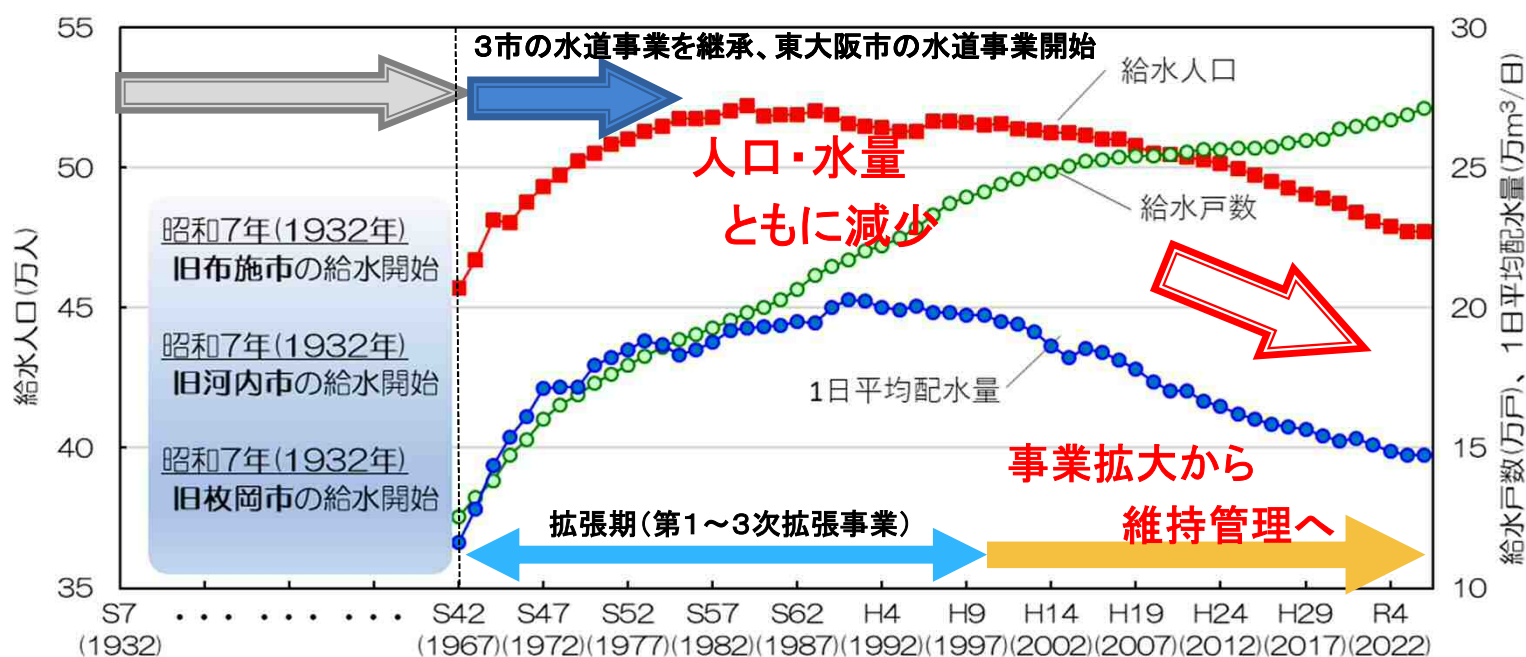
1. 東大阪市水道事業について
2. ひがしおおさか水道ビジョンについて
3. 令和6年度の進捗管理の総括
4. 取組の進捗状況と課題への対応
5. 水道ビジョンに基づく財政状況のフォローアップ



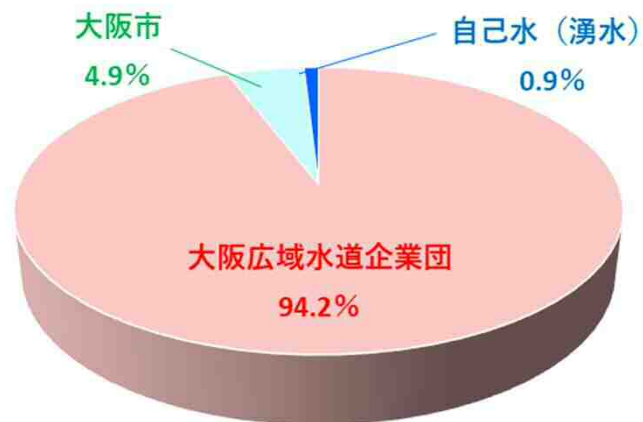
1. 東大阪市水道事業について

- ▶ 昭和42年(1967年)、旧3市の水道事業を継承し事業開始
- ▶ 拡張期においては人口の増加や都市の発展に伴う水需要の増加に対応するため、施設能力増強を実施
- ▶ 近年は人口・水量ともに減少しており、事業拡大から維持管理に移行

菱屋西配水場(創設当時)



1. 東大阪市水道事業について:水源内訳①



市内に水源となる大きな河川や湖沼がないため、水源の大部分は「大阪広域水道企業団」から受水しています

大阪広域水道企業団
村野浄水場

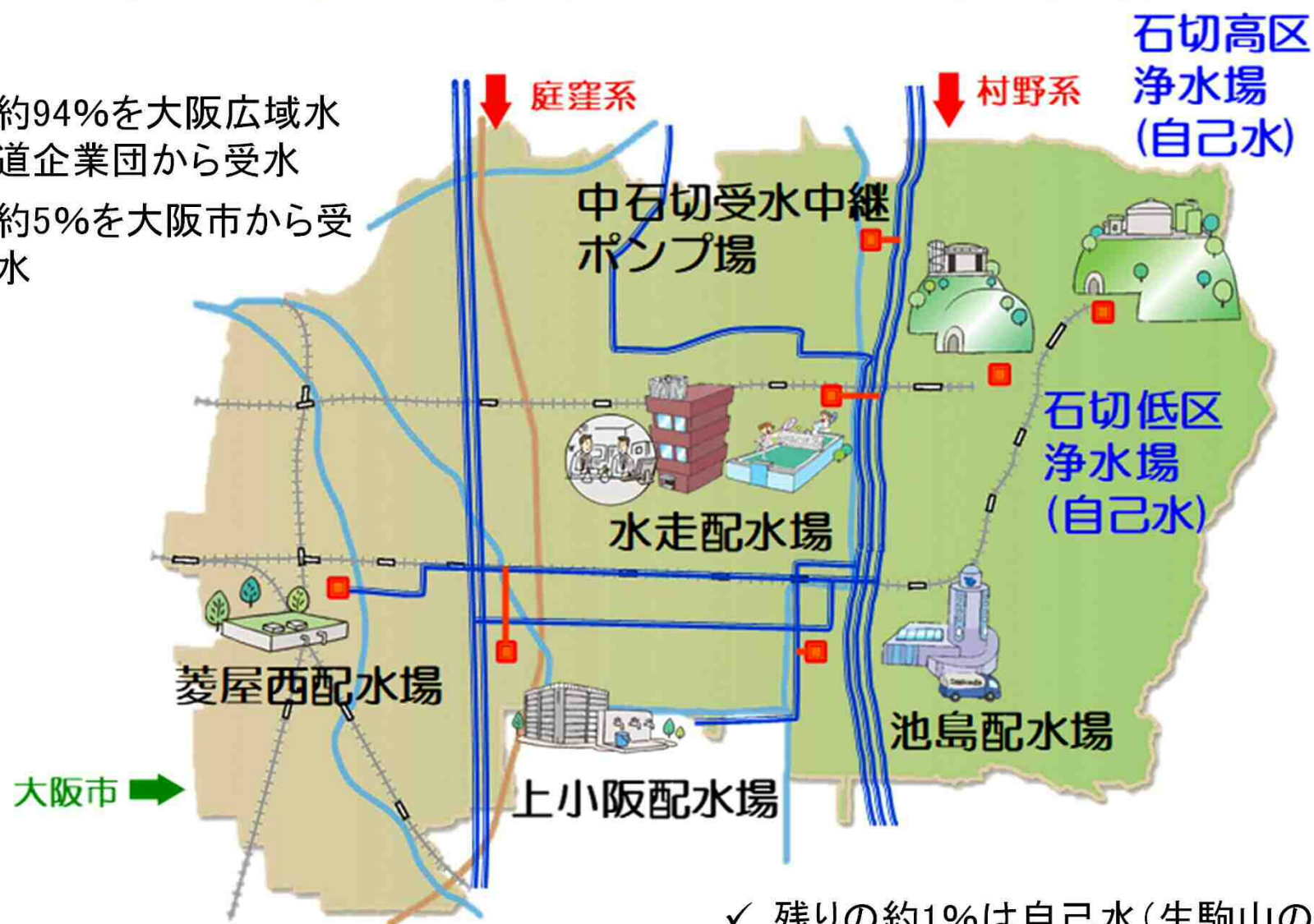


大阪広域水道企業団
庭窪浄水場



1. 東大阪市水道事業について:水源内訳②

- ✓ 約94%を大阪広域水道企業団から受水
- ✓ 約5%を大阪市から受水

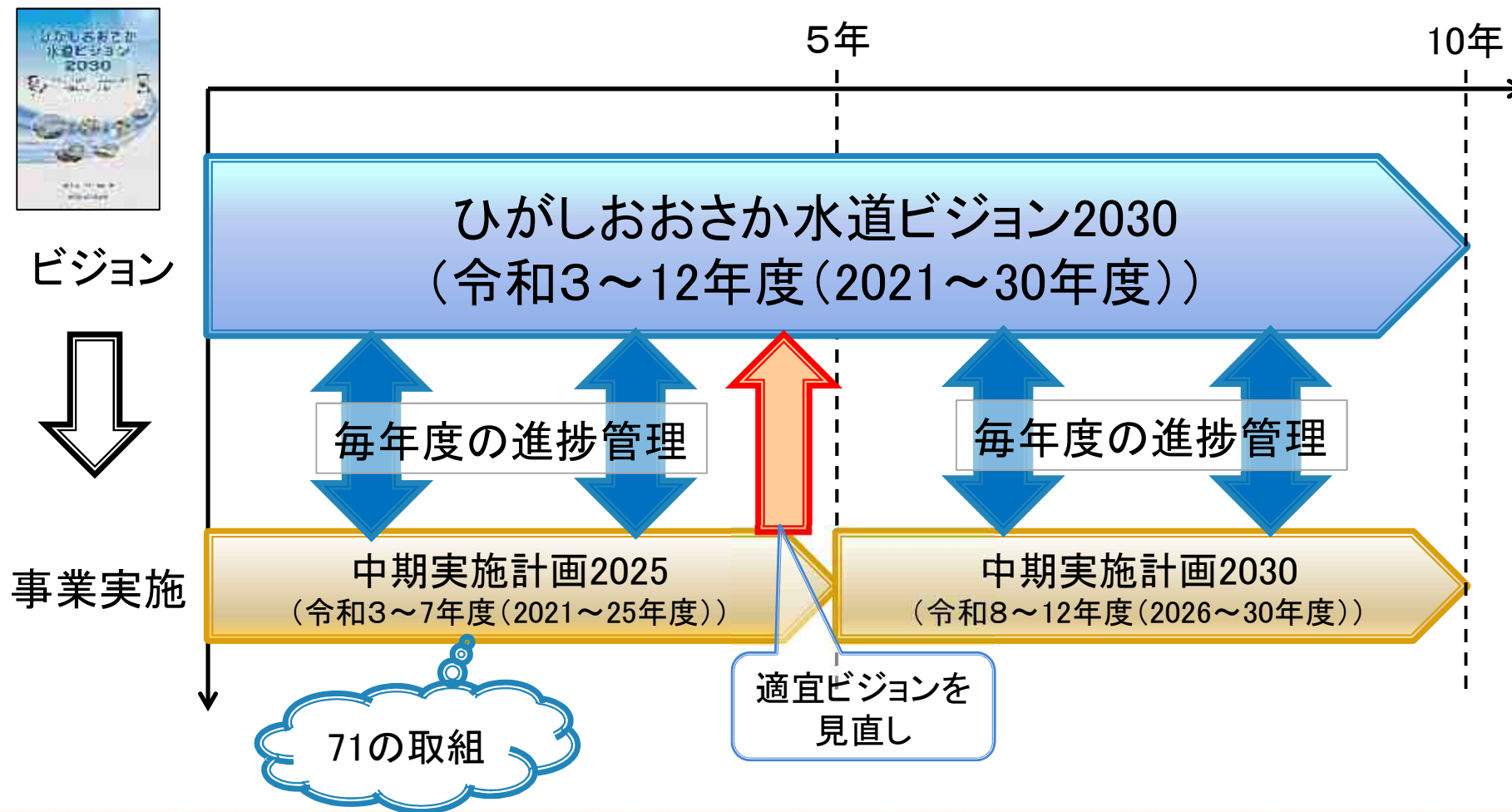


✓ 残りの約1%は自己水(生駒山の湧水)



2. ひがしおおさか水道ビジョンについて

ひがしおおさか水道ビジョンは、これからの東大阪の水道が目指す姿および目標を設定した、本市水道事業計画の最上位に位置付けられる計画になります。



2. ひがしおおさか水道ビジョンについて

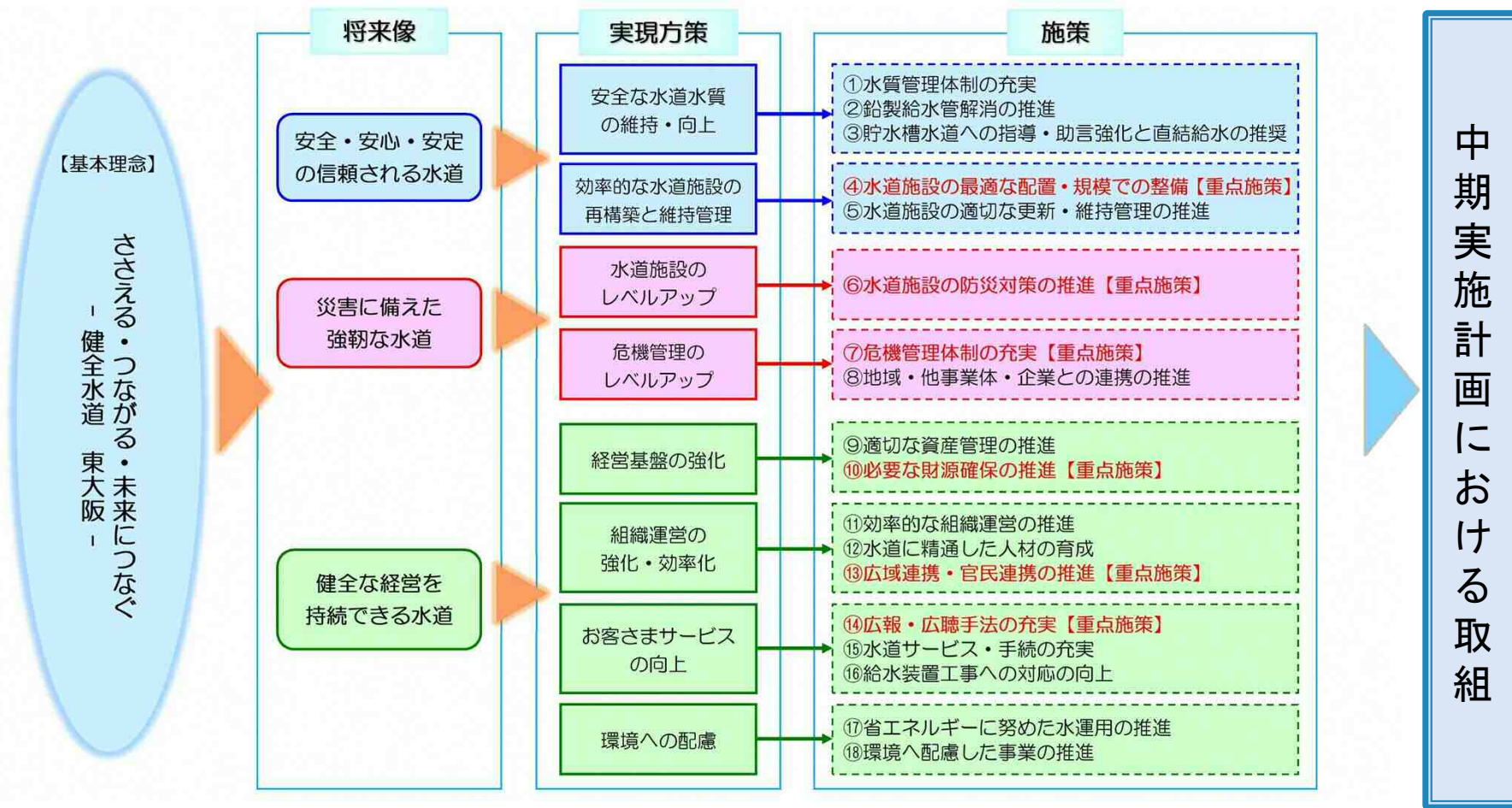
《 施策体系一覧 》

3つの将来像

8つの実現方策

18の施策

71の取組



3. 令和6年度の進捗管理の総括

(1) 令和6年度 of 取組項目の進捗状況

取組項目	◎	○	△	×
71項目	41項目 (57.8%)	28項目 (39.4%)	2項目 (2.8%)	0項目 (0%)

令和6年度は、取り組み項目のうち、97.2%について「◎」または「○」となり全体として概ね順調に進捗しました。

(参考) 令和5年度 ◎:39項目(55.8%) ○:26項目(37.1%) △:5項目(7.1%) ×:0項目(0%)

【凡 例】

目標	◎	○	△	×
数値目標あり	100%	80%以上 100%未満	80%未満	0%
数値目標なし	予定どおり 達成	概ね達成	一部達成している が遅れている	未実施



3. 令和6年度の進捗管理の総括

(2) 重点施策の主な取り組みについて

重点施策

平成30年12月に実施された水道法改正の趣旨、本市水道事業における重点的な施策推進の必要性、近年の水道事業環境の変化に対する優先度を勘案して、18の施策のうち6つの施策を「重点施策」として位置づけます。

NO.	重点施策内容
施策④	水道施設の最適な配置・規模での整備
施策⑥	水道施設の防災対策の推進
施策⑦	危機管理体制の充実
施策⑩	必要な財源確保の推進
施策⑬	広域連携・官民連携の推進
施策⑭	広報・広聴手法の充実



3. 令和6年度の進捗管理の総括

(2) 重点施策の主な取り組みについて

施策④ 水道施設の最適な配置・規模での整備

◆石切高区浄水場の配水池化に向けた整備 【取組No.14】

- ・当該浄水場は、規模が小さい一方で浄水場の更新・維持管理の負担が大きい
ため、浄水施設を廃止し、配水池として再整備を進めます。
- ・令和6年度は、関係機関との取水停止に向けた協議・調整を実施しました。
- ・協議調整が整い次第、浄水機能を廃止することとしました。

◆統廃合を含めた施設の最適配置及びダウンサイジング【取組No.15】

- ・将来的な水需要減少に対応した管路更新時の管口径の適正化(ダウンサイジング等)を引き続き進めました。
- ・令和6年度における管路布設延長約8.7km(管路更新延長約8.1km)区間
管路口径の適正化延長→約1.8km



3. 令和6年度の進捗管理の総括

(2) 重点施策の主な取り組みについて



▲配水用ポリエチレン管

施策⑥ 水道施設の防災対策の推進

◆配水池の耐震化【取組No.23】

- ・五条中区配水池の耐震補強及び改修工事を令和5年度に着工し、令和6年度完工しました。

・配水池耐震化率 ➡ 52.4%(前年度比 2.4ポイント上昇)

◆管路の耐震化【取組No.24、25】

- ・重要な水道管である基幹管路の耐震化、そして配水支管は重要給水施設への供給ルート耐震化を優先に進めました。
- ・令和6年度の目標値を達成できました。

基幹管路耐震適合率 ➡ 57.1%(前年度比 1.8ポイント上昇)

重要給水施設配水管路耐震適合率 ➡ 40.6%(前年度比 3.6ポイント上昇)

管路(全体)耐震管率 ➡ 19.4%(前年度比 0.8ポイント上昇)



3. 令和6年度の進捗管理の総括

(2) 重点施策の主な取り組みについて

施策⑦ 危機管理体制の充実

◆業務継続計画(BCP)の策定【取組No.30】

- ・大規模な災害等により断水が生じても継続的に給水事業を行うために、業務継続計画(水道BCP)を策定しました。

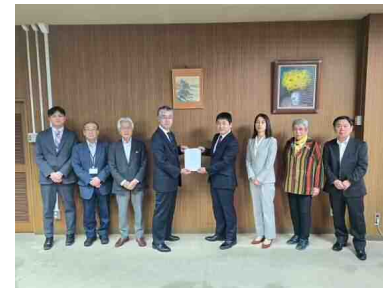
◆応急給水施設の整備・維持管理の推進【取組No.32】

- ・重要給水施設(第一次避難所)への現地調査方法等の検討を行い、市内関係部署と調整しました。
- ・令和7年度より第一次避難所と指定されている、小・中学校等(78箇所)へ現地調査を行うことを決定しました。



3. 令和6年度の進捗管理の総括

(2) 重点施策の主な取り組みについて



▲答申手交式の様子

施策⑩ 必要な財源確保の推進

◆適切な水道料金の見直し【取組No.39】

- ・令和6年8月に経営審議会へ諮問を行い、経営審議会での審議の結果、令和7年10月に平均約19%、令和10年4月に平均約8%、2回の改定で平均約28%とする段階的な料金改定とすることも可とする旨の答申を得ました。
- ・令和6年12月の東大阪市議会において、給水条例の改正案を提案し、**令和7年10月からの平均約19%の値上げについて議決されました。**

◆水道施設の建設・維持管理コストの低減【取組No.42】

- ・他企業との共同施工、低コスト材料や低コスト工法の採用、建設発生土の再利用、管路口径の適正化により建設コストの抑制に努めました。
- ・**令和6年度の効果額 約465,762千円**



3. 令和6年度の進捗管理の総括

(2) 重点施策の主な取り組みについて

施策⑬ 広域連携・官民連携の推進

◆近隣事業体との業務共同化の推進【取組No.54】

- ・「東部三市水道水質共同検査」を昨年度に引き続き行い、検査機器等の効率化を図りました。
- ・三市合同での人工衛星を活用した漏水探知で市内全域の調査を実施しました。結果、市内管路が1,043kmある中、約200kmの調査範囲まで漏水の可能性のある箇所を絞り込み、142件の漏水を発見し、修繕しました。(10km当たり7.1箇所の漏水を発見、修繕)
- ・令和7年度に人工衛星を活用した漏水調査業務委託の継続発注を行うことに向けて、広域連携を含めた検討を実施しました。

◆民間活力を利用した効率的な運営体制の推進【取組No.55】

- ・新水道庁舎建設事業において東大阪市新水道庁舎整備事業PFI事業者選定委員会の審査へ経て、PFI事業者の選定を行い、令和7年3月28日付で事業契約を締結しました。(令和10年4月供用開始予定)



3. 令和6年度の進捗管理の総括

(2) 重点施策の主な取り組みについて



▲消費生活展でのろ過実験の様子

施策⑭ 広報・広聴手法の充実

◆戦略的な情報提供、PRの推進・充実【取組No.57】

- ・水道週間によるPRの実施として、東大阪市民ふれあい祭りのパレードの部に参加や商業施設での啓発イベントを実施しました。
- ・水の日に合わせてYouTube動画を公開しました。
- ・市内開催イベントに参加しました。(消費生活展、市総合防災訓練等)

◆定期的な外部意見広聴の実施

- ・市の広報部局と連携し、LINEアンケートを実施しました。
(配信数:18,391人、回答数:3,001人)。

◆環境・社会学習による水道への理解促進

- ・イベント出展時にはろ過実験等子どもたちが体験できる内容としました。



3. 令和6年度の進捗管理の総括

(3) 21項目の管理指標(KPI)の実績1

NO.	指標項目	前年度 (R5年実績)	当年度 (R6年実績)	当年度 (R6年計画)	中間目標 (R7)	最終目標 (R12)
1	水質基準不適合率 (%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
2	水安全計画の運用・改善	運用中	運用中	適宜改善	適宜改善	適宜改善
3	鉛製給水管率(%)	5.9	5.4	6.0	5.5	3.1
4	小規模貯水槽水道点 検率(%)	2.2	2.9	53.0	80.0	100.0
5	配水池調査率(%)	81.8	81.8	81.8	81.8	81.8
6	管路更新率(%)	0.85	0.78	0.95	1.00	1.00



3. 令和6年度の進捗管理の総括

(3) 21項目の管理指標(KPI)の実績2

NO.	指標項目	前年度 (R5年実績)	当年度 (R6年実績)	当年度 (R6年計画)	中間目標 (R7)	最終目標 (R12)
7	有収率(%)	94.4	94.6	95.0	95.0	95.0
8	配水池の耐震化率 (%)	50.0	52.4	52.4	52.4	52.4
9	管路の耐震管率(%)	18.6	19.4	19.0	19.9	24.3
10	基幹管路の耐震適合 率(%)	55.3	57.1	50.8	53.2	65.3
11	重要給水施設配水管 路の耐震適合率(%)	37.0	40.6	37.7	39.6	54.4
12	料金回収率(%)	95.5	95.7	100.0以上	100.0以上	100.0以上



3. 令和6年度の進捗管理の総括

(3) 21項目の管理指標(KPI)の実績3

NO.	指標項目	前年度 (R5年実績)	当年度 (R6年実績)	当年度 (R6年計画)	中間目標 (R7)	最終目標 (R12)
13	料金収納率(%)	99.2	99.2	維持向上	維持向上	維持向上
14	給水収益に対する企業債残高の割合(%)	267.8	270.8	350.0以下	350.0以下	350.0以下
15	内部・外部研修時間 (時間/人)	11.5	14.3	11.2以上	13.0以上	16.0以上
16	研究発表会における発表事例数(回)	5	4	複数回	複数回	複数回
17	インターネットによる情報の提供度(回)	276	242	向上	向上	向上
18	水道に対する満足度(%)	60.3	62.5	向上	向上	向上



3. 令和6年度の進捗管理の総括

(3) 21項目の管理指標(KPI)の実績4

NO.	指標項目	前年度 (R5年実績)	当年度 (R6年実績)	当年度 (R6年計画)	中間目標 (R7)	最終目標 (R12)
19	配水量1m ³ 当たりの電力消費量(kWh/m ³)	0.14	0.14	維持・低減	維持・低減	維持・低減
20	建設副産物のリサイクル率(%)	100.0	100.0	90.0以上	90.0以上	90.0以上
21	再生可能エネルギー利用率(%)	0.43	0.42	向上	向上	向上



4. 取組の進捗状況と課題への対応

(1) 21項目の管理指標(KPI)による健全経営評価



▲水質検査の様子

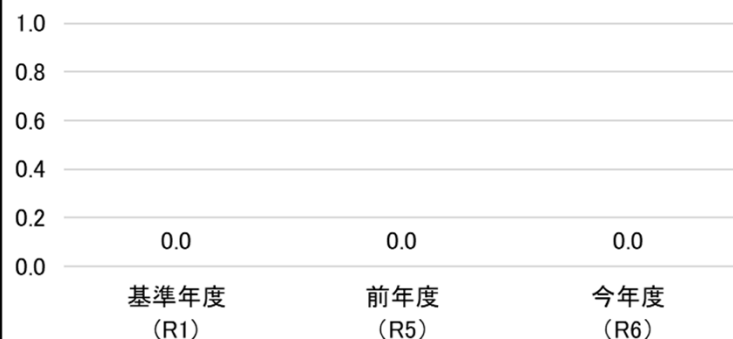
①水質基準不適合率(%)

計画数値(R06):0.0%
中間目標(R07):0.0%
最終目標(R12):0.0%

指標の
優位性



水質基準不適合率(%)



■水質基準不適合率

給水栓での水質基準に対する不適合割合。

◆評価

令和6年度水質検査計画に基づき、計画的に水質検査を実施しました。

令和6年度の水質検査結果は、全て水質基準適合で水道水に異常はありませんでした。



4. 取組の進捗状況と課題への対応

(1) 21項目の管理指標(KPI)による健全経営評価

②水安全計画の運用・改善

計画数値(R06):適宜改善
中間目標(R07):適宜改善
最終目標(R12):適宜改善

指標の
優位性

—

■水安全計画の運用・改善

水質管理の運用状況に基づく対応措置・方法の改善度合い及び水質基準の改定等の状況変化への対応状況を表す指標。

◆評価

令和5年度末に水安全計画の見直しのための点検(施設更新に伴うデータ等確認)を実施し、見直しによる改定を行いました。

東大阪市水安全計画
(概要版)



令和5年3月
東大阪市上下水道局



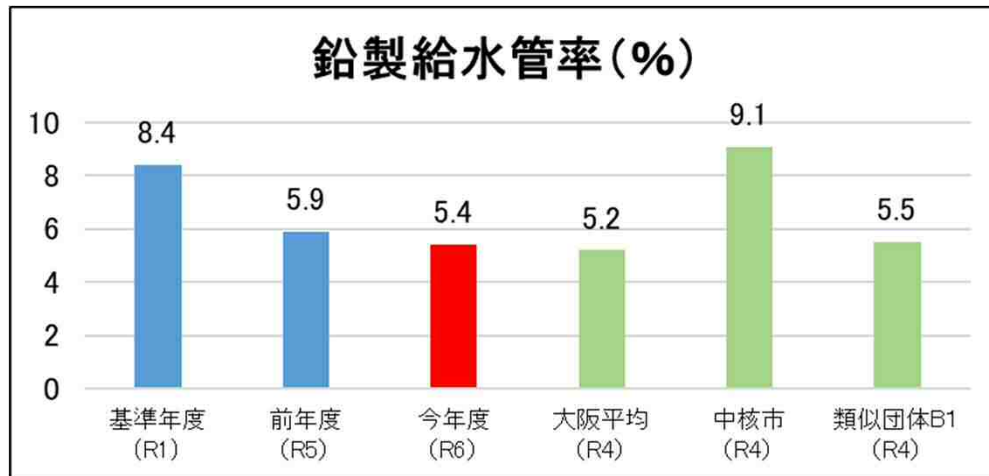
4. 取組の進捗状況と課題への対応

(1) 21項目の管理指標(KPI)による健全経営評価

③鉛製給水管率(%)

計画数値(R06): 6.0%
中間目標(R07): 5.5%
最終目標(R12): 3.1%

指標の
優位性



■鉛製給水管率(%)

給水管数に対する鉛製給水管使用件数の割合を示すものであり、鉛製給水管の解消に向けた取組みの進捗度合いを表す指標。

◆評価

鉛製給水管の早期解消を着実に進め、**鉛製給水管率5.4%となり、計画数値を達成できました。**



4. 取組の進捗状況と課題への対応

(1) 21項目の管理指標(KPI)による健全経営評価

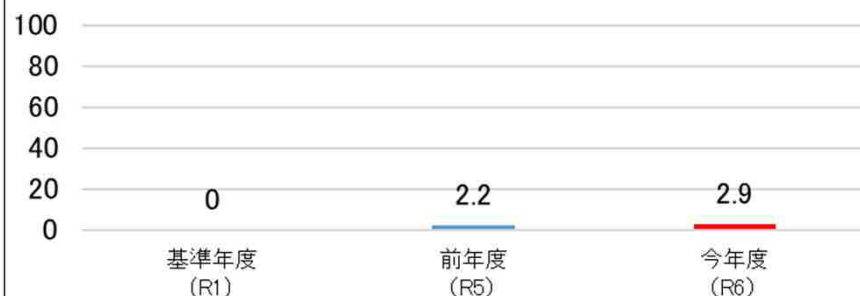
④小規模貯水槽水道点検率(%)

計画数値(R06): 53.0%
中間目標(R07): 80.0%
最終目標(R12): 100.0%

指標の
優位性



小規模貯水槽水道点検率(%)



■小規模貯水槽水道点検率(%)

5年以内に点検を実施した小規模貯水槽水道の件数の割合を示すもので、水道事業としての貯水槽水道への関与度を表す指標。

◆評価

現地調査(必要に応じて指導・助言)を令和5年度・令和6年度の累計で111件実施しましたが、貯水槽設置者との調整から実施に至るまでに時間を要したため、**小規模貯水槽水道点検率は2.9%となり計画数値を大きく下回りました。**



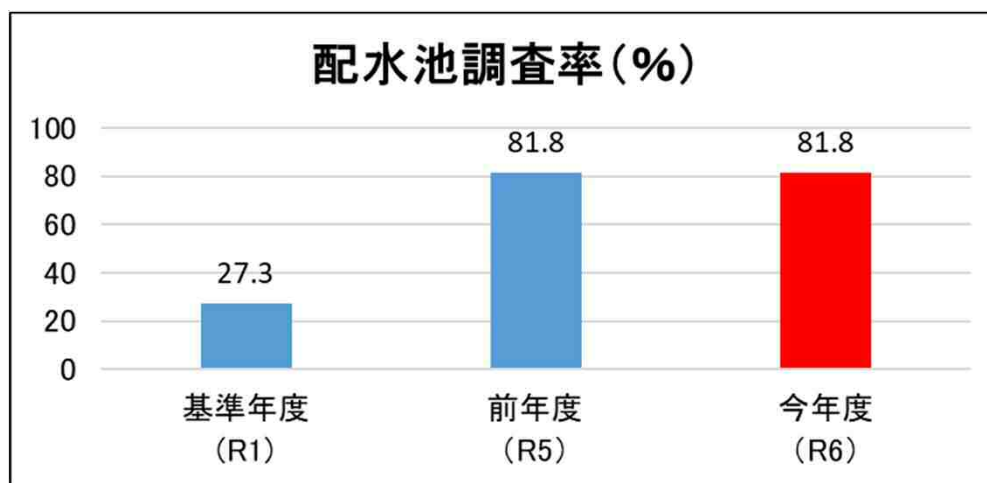
4. 取組の進捗状況と課題への対応

(1) 21項目の管理指標(KPI)による健全経営評価

⑤配水池調査率(%)

計画数値(R06):81.8%
中間目標(R07):81.8%
最終目標(R12):81.8%

指標の
優位性



■配水池調査率(%)

躯体コンクリートの劣化状況を調査した配水池の割合を示すものであり、健全性確保に向けた配水池調査の執行度合いを表す指標。

◆評価

計画的な調査を実施し、計画数値を達成しました。



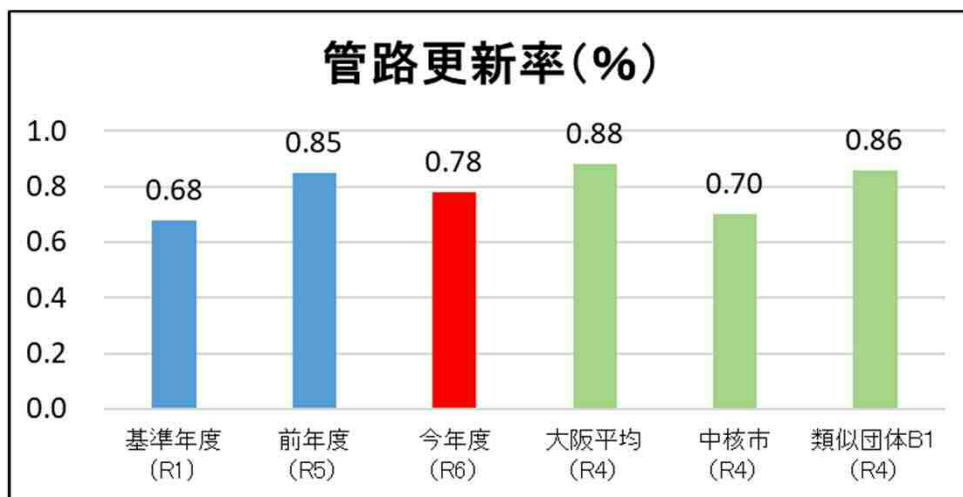
4. 取組の進捗状況と課題への対応

(1) 21項目の管理指標(KPI)による健全経営評価

⑥ 管路更新率(%)

計画数値(R06): 0.95%
中間目標(R07): 1.00%
最終目標(R12): 1.00%

指標の
優位性



■ 管路更新率(%)

管路の延長に対する更新された管路延長の割合を示すもので、管路更新の執行度合いを表す指標。

◆ 評価

管路更新延長は、約8.1km(更新率0.78%)となり計画数値は概ね達成されました。
地元や関係機関との協議調整に不測の日数を要し、約0.9kmの工事が繰越することになりましたが、繰越となった更新延長は、令和7年度に完成する見込みです。

参考: 管路布設延長は約8.7km



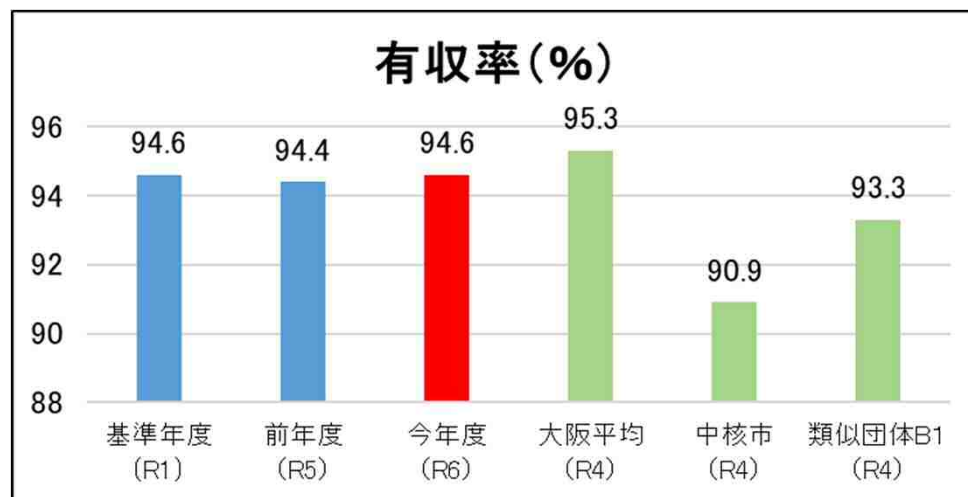
4. 取組の進捗状況と課題への対応

(1) 21項目の管理指標(KPI)による健全経営評価

⑦有収率(%)

計画数値(R06): 95.0%
中間目標(R07): 95.0%
最終目標(R12): 95.0%

指標の
優位性



■有収率(%)

年間配水量に対する有収水量の割合を示すもので、水道施設を通して供給される水量がどの程度収益に繋がっているかを表す指標。

◆評価

人工衛星を活用した漏水探知で市内全域の調査を実施することにより、市内管路が1,043 kmある中約200kmまで調査範囲を絞り込み、142件の漏水を発見し修繕を行うことにより不明水の減少による有収率の向上を図りました。



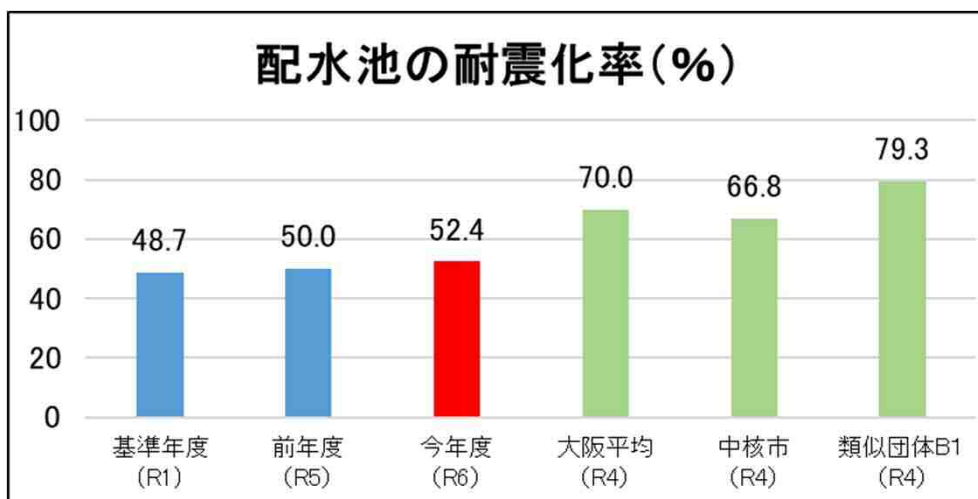
4. 取組の進捗状況と課題への対応

(1) 21項目の管理指標(KPI)による健全経営評価

⑧配水池の耐震化率(%)

計画数値(R06): 52.4%
中間目標(R07): 52.4%
最終目標(R12): 52.4%

指標の
優位性



■配水池の耐震化率(%)

全配水池容量に対する耐震対策の施された配水池の容量の割合を示すもので、地震災害に対する配水池の信頼性・安全性を表す指標。

◆評価

昨年度より着工していた、五条中区配水池耐震補強及び改修工事を完工することにより配水池の耐震化率が52.4%となり計画数値を達成できました。



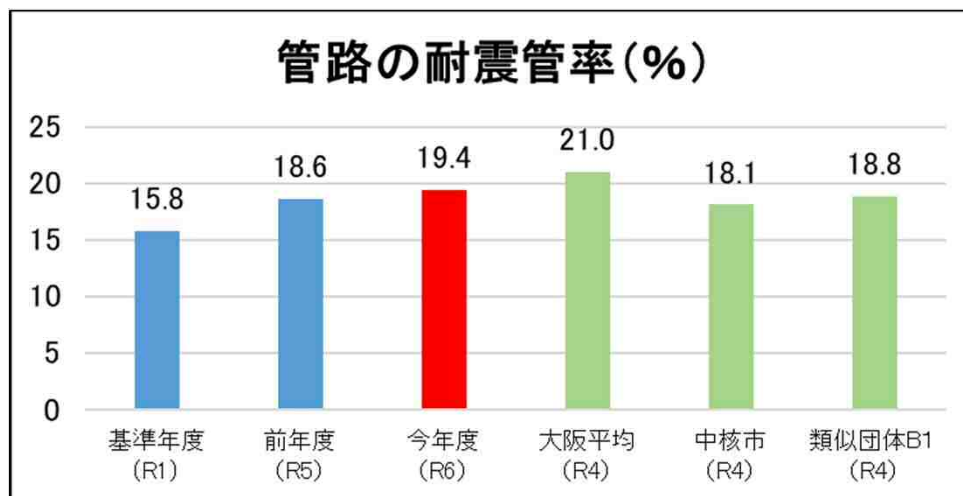
4. 取組の進捗状況と課題への対応

(1) 21項目の管理指標(KPI)による健全経営評価

⑨管路の耐震管率(%)

計画数値(R06): 19.0%
中間目標(R07): 19.9%
最終目標(R12): 24.3%

指標の
優位性



■管路の耐震管率(%)

全ての管路の延長に対する耐震管延長の割合を示すもので、災害に対する水道管路網の安全性、信頼性を表す指標。

◆評価

老朽管から耐震管への更新が進んだことにより、管路の耐震化率は、19.4%となり、計画数値を上回ることができました。



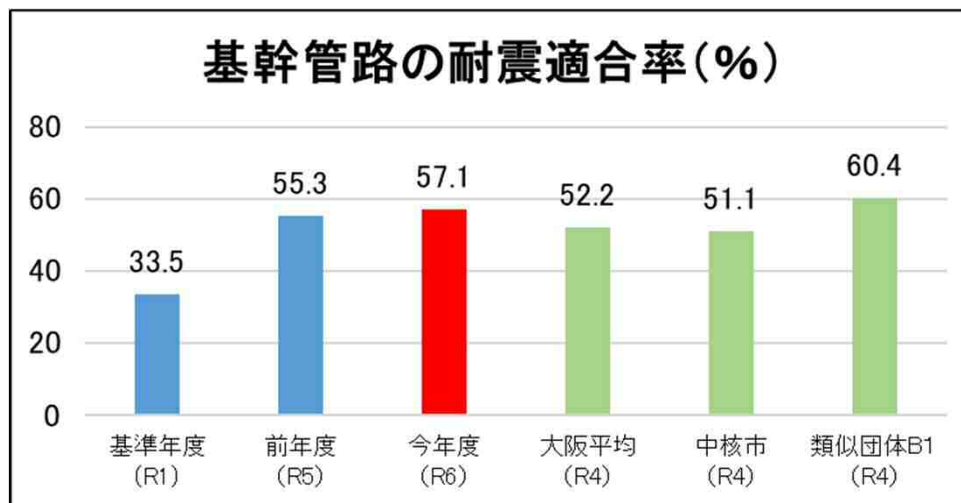
4. 取組の進捗状況と課題への対応

(1) 21項目の管理指標(KPI)による健全経営評価

⑩基幹管路の耐震適合率(%)

計画数値(R06): 50.8%
中間目標(R07): 53.2%
最終目標(R12): 65.3%

指標の
優位性



■基幹管路の耐震適合率(%)

基幹管路の延長に対する耐震適合性のある管路延長の割合を示すもので、災害に対する基幹管路の安全性、信頼性を表す指標。

◆評価

優先度の高い基幹管路の耐震化を着実に進め(R6年度における基幹管路布設延長: 1,096m)、基幹管路の耐震適合率は、57.1%となり、計画数値を上回ることができました。



4. 取組の進捗状況と課題への対応

(1) 21項目の管理指標(KPI)による健全経営評価

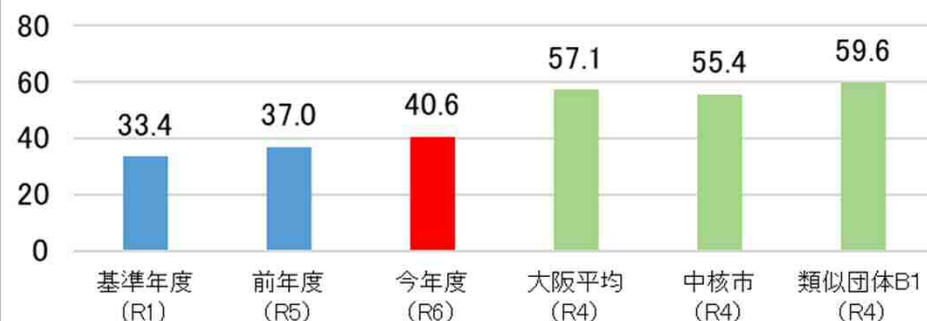
⑪重要給水施設配水管路の耐震適合率(%)

計画数値(R06): 37.7%
中間目標(R07): 39.6%
最終目標(R12): 54.4%

指標の
優位性



重要給水施設配水管路の
耐震適合率(%)



■重要給水施設配水管路の耐震適合率(%)

重要給水施設への配水管の延長に対する耐震適合性のある管路延長の割合を示すもので、大規模な地震災害に対する重要給水施設配水管路の安全性、信頼性を表す指標。

◆評価

給水優先度が高い重要給水施設への供給ルート耐震化を着実に進め、**重要給水施設配水管路耐震化率は、40.6%となり、計画数値を上回ることができました。**



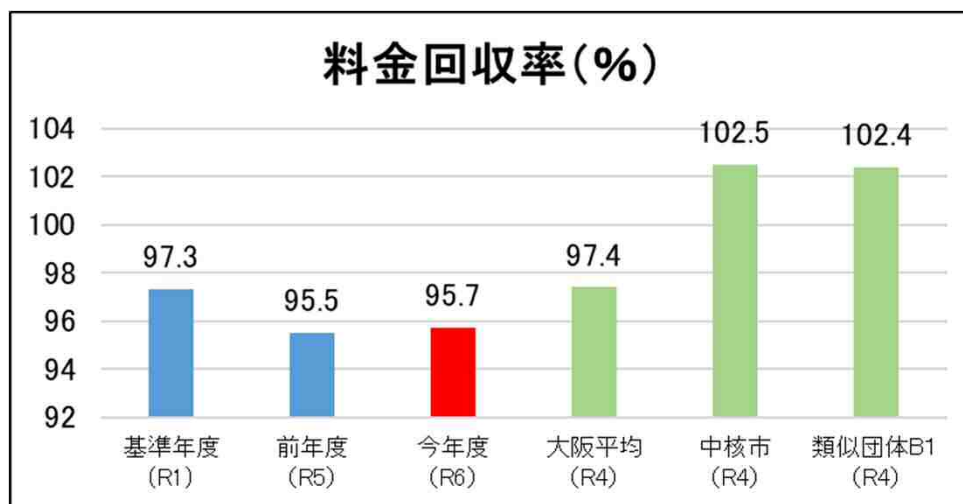
4. 取組の進捗状況と課題への対応

(1) 21項目の管理指標(KPI)による健全経営評価

⑫料金回収率(%)

計画数値(R06): 100.0%以上
中間目標(R07): 100.0%以上
最終目標(R12): 100.0%以上

指標の
優位性



■料金回収率(%)

給水原価に対する供給単価の割合を示すもので、水道事業の経営状況の健全性を表す指標。

◆評価

料金回収率は依然として100%を下回っており給水収益のみでは原価割れ状態が続いています。適正な料金水準の検討を行い、令和6年12月の東大阪市議会において、令和7年10月からの平均約19%の水道料金の値上げについて議決されたため、今後は100%を上回る見込みです。



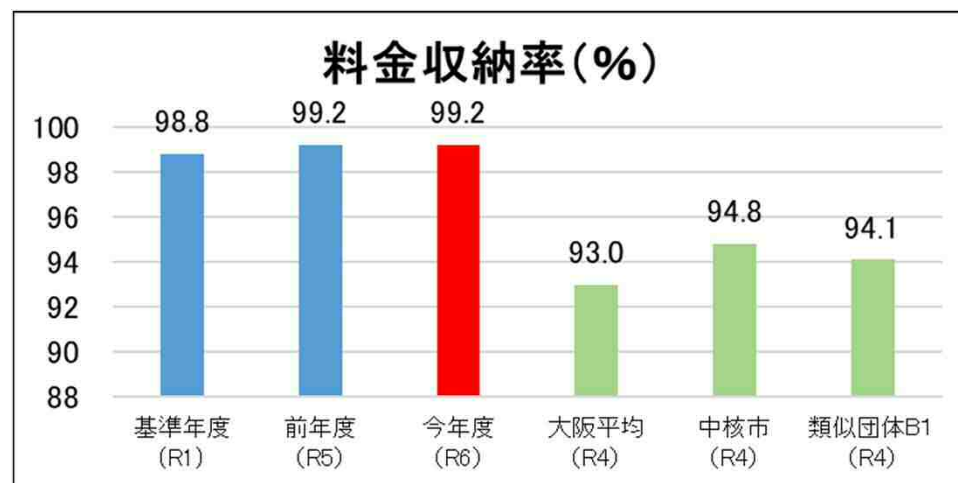
4. 取組の進捗状況と課題への対応

(1) 21項目の管理指標(KPI)による健全経営評価

⑬料金収納率(%)

計画数値(R06):維持・向上
中間目標(R07):維持・向上
最終目標(R12):維持・向上

指標の
優位性



■料金収納率(%)

1年間の水道料金総調定額に対して、決算確定時点において納入されている収入額の割合を示すもので、水道事業の経営状況の健全性を表す指標。

◆評価

閉栓未収対応及び高額滞納者対応等、未納対策の強化を実施しました。また、滞納が長期化しない取組として調定から給水停止までの期間を短縮することで、収納率向上に取り組み、**昨年度の料金収納率を維持しました。**



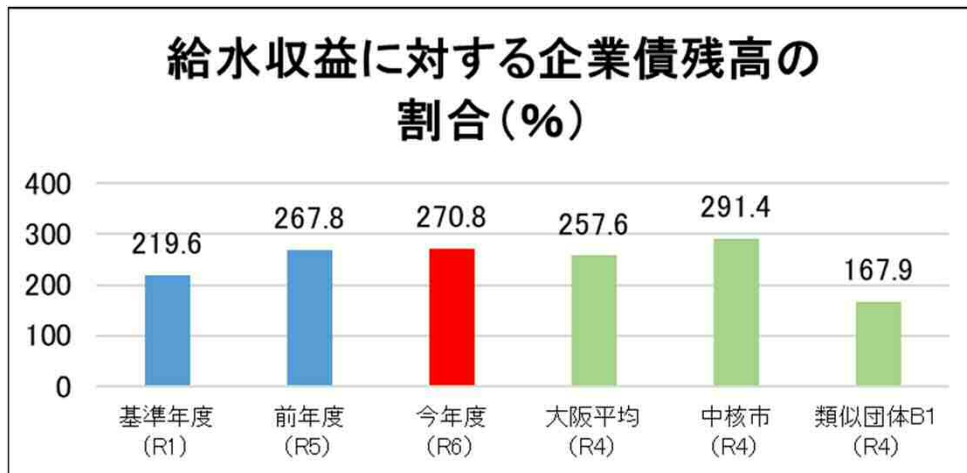
4. 取組の進捗状況と課題への対応

(1) 21項目の管理指標(KPI)による健全経営評価

⑭給水収益に対する企業債残高の割合(%)

計画数値(R06): 350.0%以下
中間目標(R07): 350.0%以下
最終目標(R12): 350.0%以下

指標の
優位性



■給水収益に対する企業債残高の割合(%)
給水収益に対する企業債残高の割合を示すもので、企業債残高が規模及び経営に及ぼす影響を表す指標。

◆評価

令和6年度は、企業債の借入充当率を50%から60%へ引き上げを行いました。給水収益に対する企業債残高の割合は計画数値を下回ることができました。



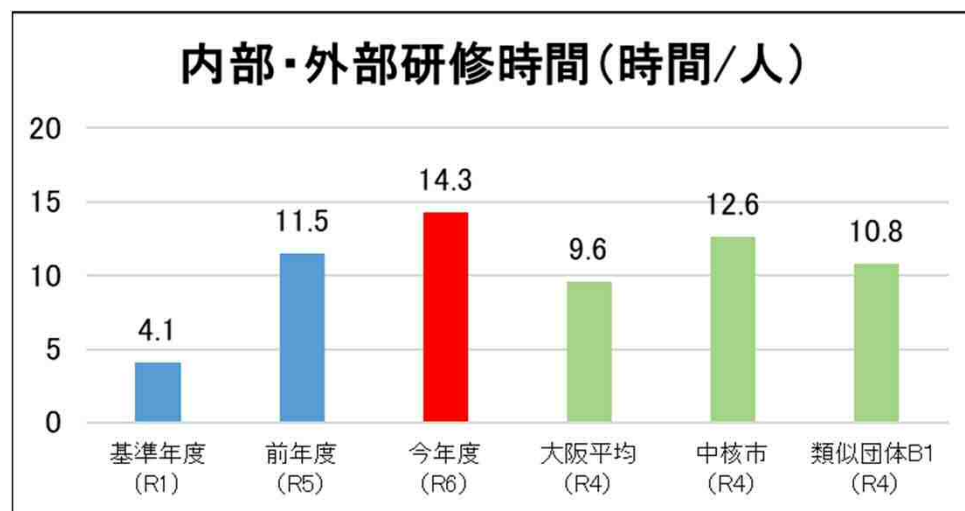
4. 取組の進捗状況と課題への対応

(1) 21項目の管理指標(KPI)による健全経営評価

⑮内部・外部研修時間(時間/人)

計画数値(R06):11.2以上
中間目標(R07):13.0以上
最終目標(R12):16.0以上

指標の
優位性



■内部・外部研修時間(時間/人)

職員一人当たりの内部・外部研修の受講時間を表すもので、技術継承及び技術向上への取組状況を表す指標。

◆評価

令和6年度においては、昨年度に引き続き積極的な研修参加により、一人当たりの研修時間が目標値を上回る事ができました。



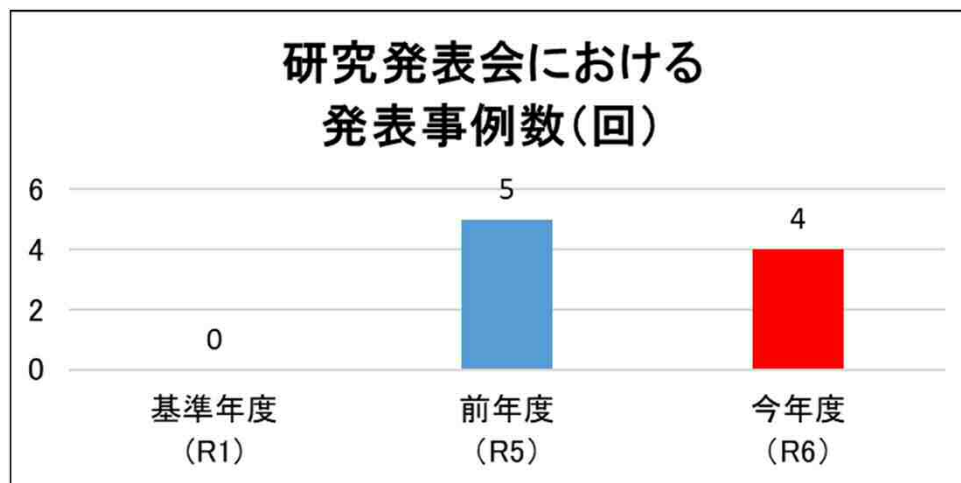
4. 取組の進捗状況と課題への対応

(1) 21項目の管理指標(KPI)による健全経営評価

⑩研究発表会における発表事例数(回)

計画数値(R06):複数回
中間目標(R07):複数回
最終目標(R12):複数回

指標の
優位性



■研究発表会における発表事例数(回)

日本水道協会等の研究発表会における発表事例数を示すもので、技術継承及び技術向上への取組状況を表す指標。

◆評価

日本水道協会全国会議で2件、日本水道協会関西支部にて2件発表したことで、**発表事例数の目標である複数回を達成できました。**

参考: 研究発表テーマ

- ・ 推進工法による幹線道路横断の施工事例
- ・ 近隣市との水質業務の連携 ― 課題解決に向けた「ヒト」・「モノ」・「カネ」の有効活用 ―



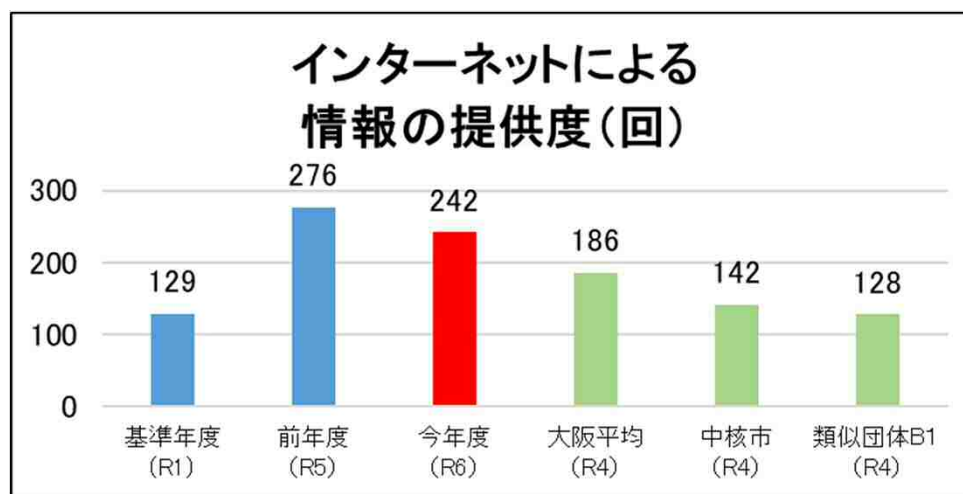
4. 取組の進捗状況と課題への対応

(1) 21項目の管理指標(KPI)による健全経営評価

⑰インターネットによる情報の提供度(回)

計画数値(R06): 向上
中間目標(R07): 向上
最終目標(R12): 向上

指標の
優位性



■インターネットによる情報の提供度(回)

水道事業の情報発信回数を表すもので、お客様への事業内容の公開度合いを表す指標。

◆評価

市公式SNS(X、Facebook、LINE、YouTube)を活用した広報を実施することで、SNSからも市ウェブサイトへアクセスできるよう努めました。積極的な発信を継続することで、昨年度と概ね同程度のインターネットによる情報提供を行うことが出来ました。



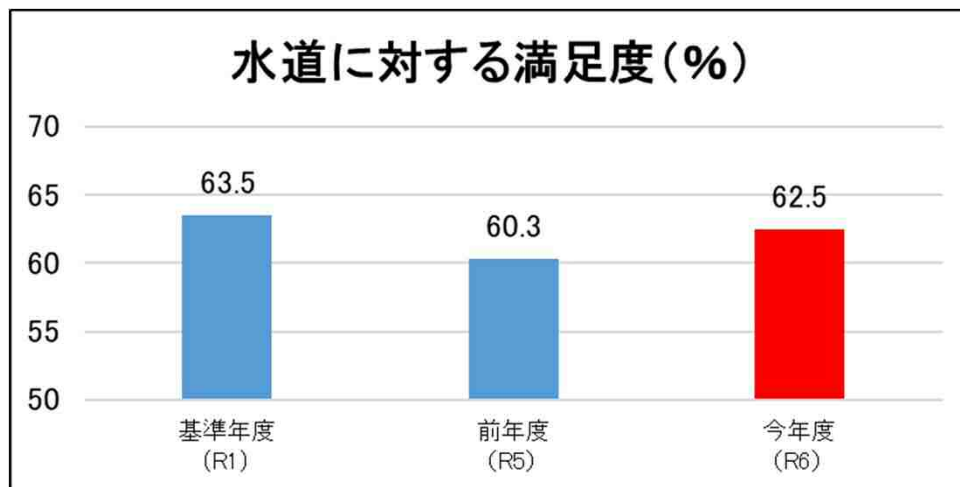
4. 取組の進捗状況と課題への対応

(1) 21項目の管理指標(KPI)による健全経営評価

⑱水道に対する満足度(%)

計画数値(R06): 向上
中間目標(R07): 向上
最終目標(R12): 向上

指標の
優位性



■水道に対する満足度(%)

アンケートで水道に「満足」等と回答した人数割合を示すもので、お客さまの満足度を表す指標。

◆評価

市の広報部局と連携し、LINEアンケートを実施しました。LINEアンケートでは3,001人の回答(配信者数:18,391人)を得ることができました。



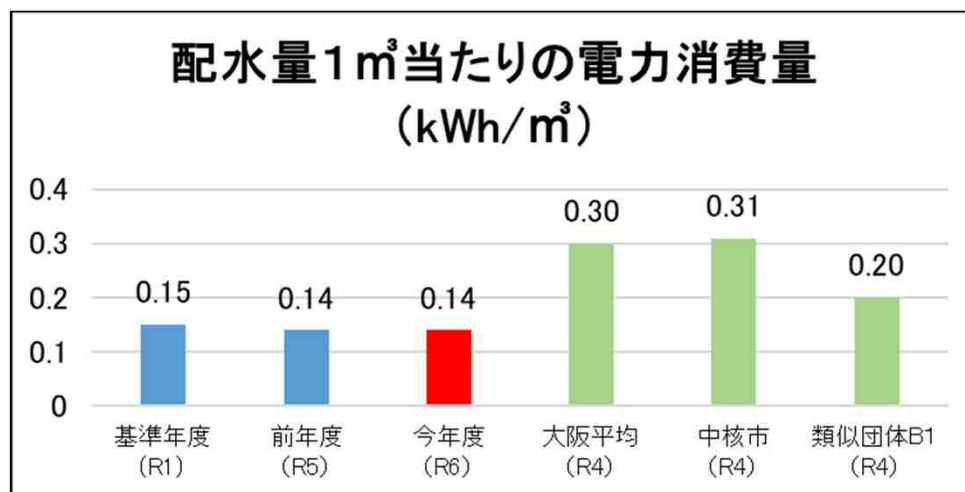
4. 取組の進捗状況と課題への対応

(1) 21項目の管理指標(KPI)による健全経営評価

⑬配水量1 m³当たりの電力消費量(kWh/m³)

計画数値(R06):維持・低減
中間目標(R07):維持・低減
最終目標(R12):維持・低減

指標の
優位性



■配水量1 m³当たりの電力消費量(kWh/m³)
配水量1 m³当たりの電力消費量を示すもので、省エネルギー対策への取り組み度合いを表す指標。

◆評価

受水圧・位置エネルギーの活用を継続することにより、配水量1 m³当たりの電力消費量は 0.14kWh/m³となり維持することができました。



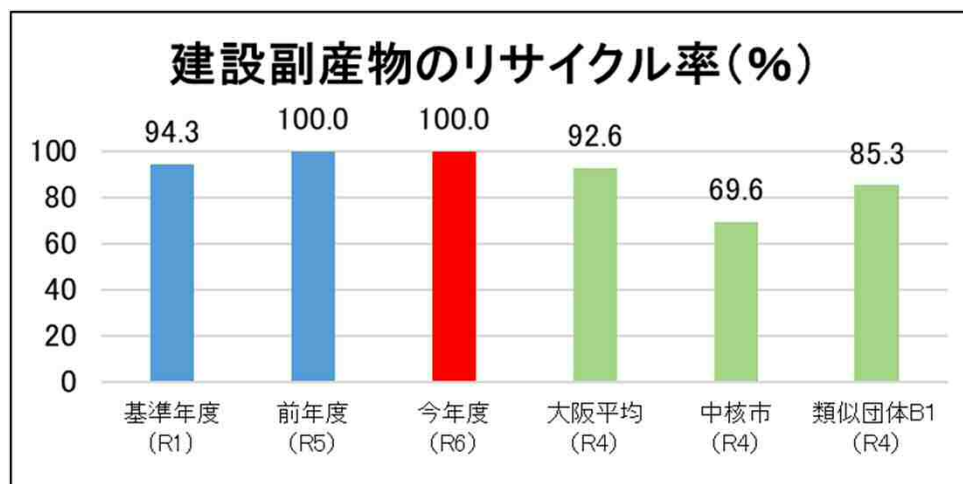
4. 取組の進捗状況と課題への対応

(1) 21項目の管理指標(KPI)による健全経営評価

②建設副産物のリサイクル率(%)

計画数値(R06): 90.0%以上
中間目標(R07): 90.0%以上
最終目標(R12): 90.0%以上

指標の
優位性



■建設副産物のリサイクル率(%)

水道事業における工事などで発生する建設副産物のうち、再資源化(再使用・再生利用)された建設副産物の割合を示すもので、環境保全への取り組み度合いを表す指標。

◆評価

建設副産物の有効利用を積極的に進め、建設副産物のリサイクル率は、100%となり、計画数値を上回ることができました。



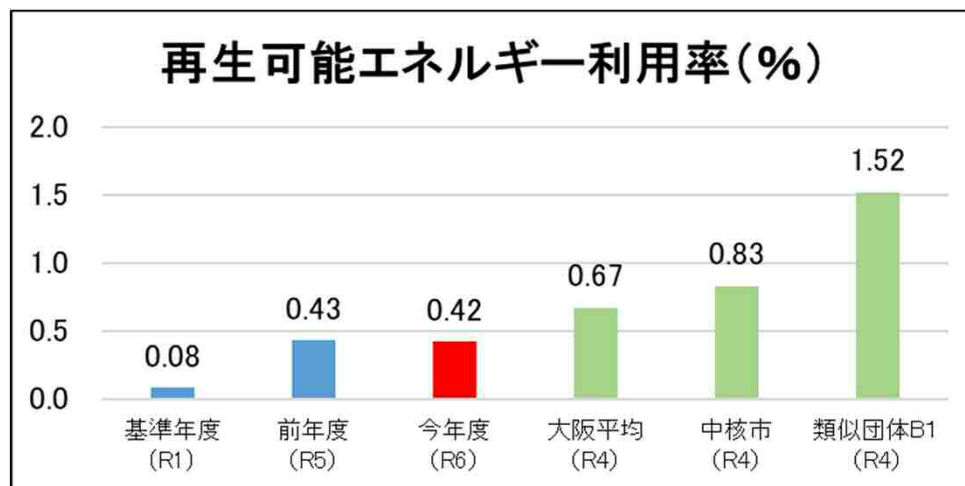
4. 取組の進捗状況と課題への対応

(1) 21項目の管理指標(KPI)による健全経営評価

②再生可能エネルギー利用率(%)

計画数値(R06): 向上
中間目標(R07): 向上
最終目標(R12): 向上

指標の
優位性



■再生可能エネルギー利用率(%)

全施設の電力消費量に対する再生可能エネルギーの利用の割合を示すもので、環境負荷低減に対する取り組み度合いを表す指標。

◆評価

再生可能エネルギー利用率は、ほぼ前年度並みになりました。



4. 取組の進捗状況と課題への対応

(2) 進捗が遅れている取組の課題と今後の対応について

施策② 鉛製給水管解消の推進

鉛製給水管解消に向けた新たな制度の検討・実施 (取組No.9)

◆主な課題◆

【助成等の制度導入の検討】

鉛製給水管解消に向けた他市の助成等の導入状況を調査し、制度導入について検討を行ったが(助成対象部分(1次側、2次側等)や助成方法等)導入による事務量の増加に対する効果や実績が得られにくいなどの課題があり、検討保留となった。

●今後の対応●

助成金制度の内容や実施時期を改めて検討を行います。



4. 取組の進捗状況と課題への対応

(2) 進捗が遅れている取組の課題と今後の対応について

施策③ 貯水槽水道への指導・助言強化と直結給水の推奨

貯水槽調査における管理状況等の情報提供 (取組No.11)

◆主な課題◆

【小規模貯水槽の現地把握と点検】

約3,900件ある小規模貯水槽水道の現地調査(必要に応じて指導・助言)を令和5年度・令和6年度の2年間で計111件実施したが、貯水槽設置者との調整から実施に至るまで予想以上に時間を要したため、指導内容及びサイクルの見直しが必要になります。

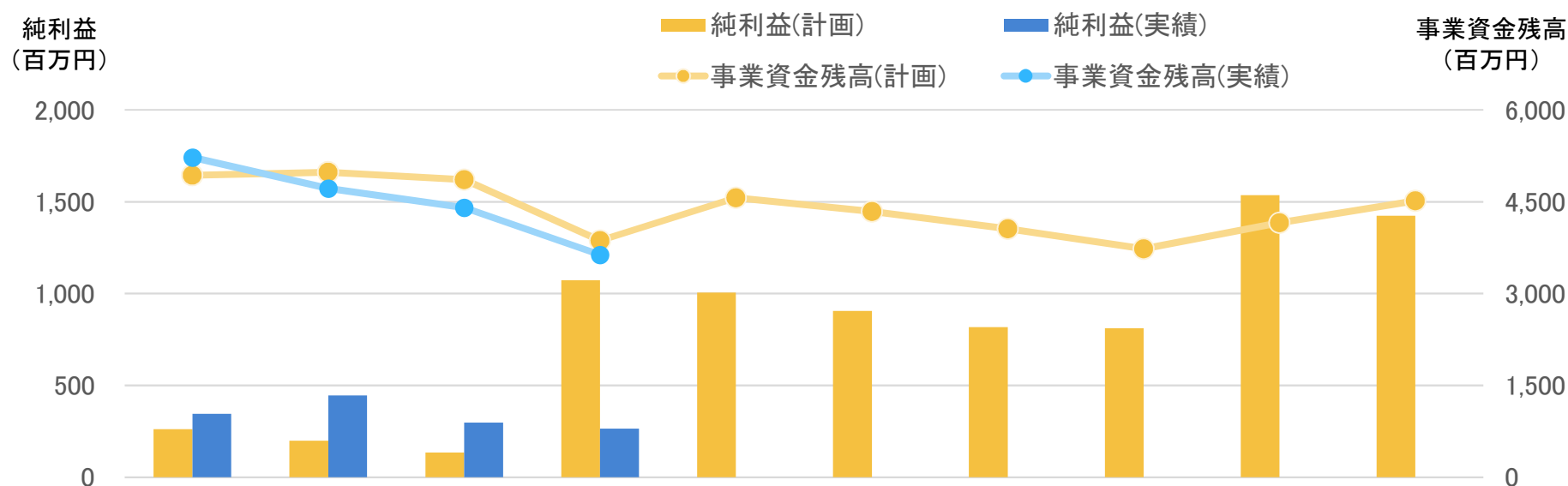
●今後の対応●

小規模貯水槽水道点検率を高めるため、新たな手法含め検討します。



5. 水道ビジョンに基づく財政状況のフォローアップ

《 事業資金残高と純利益の実績と推移予測 》



	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
事業資金残高(計画)	4,931	4,980	4,863	3,866	4,565	4,340	4,059	3,731	4,159	4,517
事業資金残高(実績)	5,224	4,716	4,402	3,633						
純利益(計画)	262	198	135	1,072	1,005	905	817	811	1,535	1,423
純利益(実績)	345	445	297	265						



5. 水道ビジョンに基づく財政状況のフォローアップ

1. 現状における財政状況

- 令和6年度の純利益は黒字を確保していますが、資金残高は減少しています。
- また、料金回収率が依然として100%を下回るなど、安定的な財政運営には課題があり、厳しい経営状況が続いています。
- 一方で、令和6年12月の市議会において、令和7年10月から平均約19%の値上げをする給水条例改正案が可決されたことから、将来的な経営状況改善に向けた一歩となりました。

2. 水道ビジョン計画期間中における財政状況

- 料金改定を行わなかった場合、令和7年度に収益的収支が赤字となることが見込まれていましたが、令和7年10月の料金改定により、計画期間中における収益的収支が改善できる見込みです。
- 引き続き、適切な料金改定を実施することで、計画期間中の黒字決算および目標とする資金残高を維持します。

